



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ  
 コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経  
 理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	101,257	5.2	9,522	58.8	9,734	55.5	6,588	56.4
2020年3月期	96,238	△2.5	5,995	7.8	6,260	3.2	4,211	△1.2

(注) 包括利益 2021年3月期 7,293百万円 (76.6%) 2020年3月期 4,129百万円 (△12.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	186.58	—	9.2	11.0	9.4
2020年3月期	114.61	—	6.1	7.2	6.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	94,028	74,767	78.0	2,086.85
2020年3月期	82,798	71,032	84.3	1,921.50

(参考) 自己資本 2021年3月期 73,334百万円 2020年3月期 69,833百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	8,855	△483	1,884	47,870
2020年3月期	8,583	△538	△10,647	37,549

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,824	43.6	2.6
2021年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,932	29.5	2.7
2022年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00		34.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	49,900	△0.6	4,400	△15.4	4,450	△16.4	2,950	△17.8	83.95
通期	103,400	2.1	9,000	△5.5	9,100	△6.5	6,100	△7.4	173.59

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	37,375,636株	2020年3月期	37,375,636株
2021年3月期	2,234,624株	2020年3月期	1,032,274株
2021年3月期	35,310,450株	2020年3月期	36,747,960株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	91,755	4.6	8,071	56.9	8,225	38.5	5,674	34.1
2020年3月期	87,712	△3.1	5,143	5.5	5,939	12.2	4,230	17.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	160.69	—
2020年3月期	115.12	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	86,336	69,126	80.1	1,967.11
2020年3月期	76,464	66,648	87.2	1,833.85

(参考) 自己資本 2021年3月期 69,126百万円 2020年3月期 66,648百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	45,400	0.9	3,800	△13.6	2,600	△14.4	73.99
通期	94,000	2.4	7,700	△6.4	5,350	△5.7	152.24

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提や計画に基づく予測が含まれており、経済及び業界の動向・価格競争・為替レートの変動等にかかるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する情報は5ページの「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	21
(3) 株主資本等変動計算書 .....	22
5. その他 .....	24
(1) 役員の異動 .....	24
(2) その他 .....	24

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益	自己資本当期 純利益率(%)
2021年3月期	101,257	9,522	9,734	6,588	186円58銭	9.2
2020年3月期	96,238	5,995	6,260	4,211	114円61銭	6.1
増減率(%)	5.2	58.8	55.5	56.4	—	—

## &lt;連結経営成績に関する定性的情報&gt;

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、店舗の休業要請や営業時間の短縮要請、人数制限やソーシャルディスタンスなどの対策を行ったうえでの営業再開など、感染防止対策と社会経済活動との両立が求められた1年となりました。

当社グループの属する流通業界においても、人々の生活行動様式や消費行動の変化に伴い、消費者から求められる商品の変化への対応が求められる状況下、当社グループは2021年3月期の経営方針として、『生活者に必要な会社へ』を掲げ、生活者の豊かな暮らしに貢献し続ける企業を目指し、取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高101,257百万円(前期比105.2%)、売上総利益30,460百万円(前期比114.1%)、販売費及び一般管理費20,937百万円(前期比101.1%)、営業利益9,522百万円(前期比158.8%)、経常利益9,734百万円(前期比155.5%)、親会社株主に帰属する当期純利益6,588百万円(前期比156.4%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

## 「開発型ビジネスモデル」

当社グループでは、他社にない切り口の商品を企画・開発してまいりました。

2020年11月に発売した「猫舌専科タンブラー」は、熱い飲み物が苦手な猫舌の方に向けたステンレストンブラーです。瞬時に熱い飲み物を60℃台まで下げて、飲み頃温度を1時間キープします。今までになかった新しい切り口が各メディアやSNSで話題になり、大変好調な販売となりました。

2021年2月に新発売した「スマートフライパン s u t t o (スット)」は、限りあるスペースを有効活用することをコンセプトに、キッチンの僅かな隙間にも立てて収納できる四角い形状のフライパンです。ありそうでなかった新しい形のフライパンとして各メディアで多数紹介され、初回販売分が1週間で売り切れとなるなど好調に推移しました。

また、感染症対策のための換気の必要性や、室内冷暖房の効率化の面から、サーキュレーター機能を有したLED照明である「サーキュライト」シリーズや、ファン部分のパーツを簡単に取り外してお手入れできる「サーキュレーター」、2020年にはコードレスタイプも新たに加わるなどカモメの羽をヒントにつくられた扇風機「K a m o m e f a n (カモメファン)」をはじめとした扇風機・サーキュレーターも例年以上に好調に推移しました。

加湿器や空気清浄機・除菌消臭器なども感染防止対策もあって好調に推移したほか、巣ごもりでの調理機会の増加に伴い、家庭用ホットプレートやこびりつきにくい性能で好評なフライパン「e v e r c o o k (エバークック)」なども販売が伸長しました。

ほかにも、在宅勤務・テレワーク需要により、OAチェアやゲーミングチェアが好調な販売となったほか、自宅で過ごす時間の増加により、室内の収納整理をより快適なものとするため、「ルミナススチールラック」などの収納用品の販売も、引き続き好調が続いております。

その結果、当セグメントの売上高は53,679百万円(前期比114.0%)、セグメント利益5,605百万円(前期比170.6%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

卸売型ビジネスモデルによる調達商品については、当社の持つ得意先・仕入先のネットワークを活かし、生活者の求める商品をスピーディーに調達・提供しております。今期については、マスクや除菌スプレー、衛生用ビニール手袋などの衛生関連商品をタイムリーに供給してきたこともあり、売上・利益面ともに伸長しました。

ギフト関連では、コロナ禍で小売り各社の店頭での中元・歳暮ギフトコーナーの売場が縮小された影響もあり、販売は前期を下回る結果となりましたが、持ち帰り用の詰め合わせギフトセットは、有名メーカーの調味料や食品・飲料などを自家消費用としても安価に利用できることから、販売は好調に推移したことに加え、宅配おせちについても、年末年始の帰省・旅行控えの影響もあり、好調な販売となりました。

時計やバッグなどの有名ブランド品については、消費に対する慎重な姿勢も影響し、販売は前期を下回る結果となりましたが、健康意識の高まりによりスマートウォッチに対する需要は高まっております。当社の売り場プロデュース力を活かし、得意先店頭でのスマートウォッチ売場は拡大傾向にあり、販売も伸長しております。

その結果、当セグメントの売上高は43,275百万円(前期比95.8%)、セグメント利益3,823百万円(前期比141.0%)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(1) 流動資産

当連結会計年度における流動資産の残高は、72,020百万円(前連結会計年度60,668百万円)となり、11,352百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金10,321百万円、商品及び製品897百万円の増加及び受取手形及び売掛金129百万円の減少によるものであります。

(2) 固定資産

当連結会計年度における固定資産の残高は、22,007百万円(前連結会計年度22,129百万円)となり、122百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券330百万円の増加及び建物及び構築物(純額)307百万円、リース資産(純額)82百万円、繰延税金資産115百万円の減少によるものであります。

(3) 流動負債

当連結会計年度における流動負債の残高は、11,394百万円(前連結会計年度10,437百万円)となり、957百万円増加いたしました。これは主に、買掛金662百万円、未払法人税等1,192百万円増加及び1年内返済予定の長期借入金1,000百万円の減少によるものであります。

(4) 固定負債

当連結会計年度における固定負債の残高は、7,866百万円(前連結会計年度1,328百万円)となり、6,537百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金6,600百万円の増加によるものであります。

(5) 純資産

当連結会計年度における純資産の残高は、74,767百万円(前連結会計年度71,032百万円)となり、3,734百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益6,588百万円、その他有価証券評価差額金217百万円、繰延ヘッジ損益206百万円の増加及び剰余金の配当1,787百万円、自己株式の取得1,771百万円の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,583	8,855	272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△538	△483	55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,647	1,884	12,531
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,646	10,321	12,967
現金及び現金同等物の期末残高	37,549	47,870	10,321
借入金の期末残高	1,000	6,600	5,600
総資産	82,798	94,028	11,229
純資産	71,032	74,767	3,734

当連結会計年度末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) は47,870百万円となり、前連結会計年度末より10,321百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は8,855百万円 (前期は8,583百万円の増加) となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益9,734百万円、減価償却費763百万円、仕入債務の増加額633百万円、未払消費税等の増加額154百万円による増加及びたな卸資産の増加額880百万円、法人税等の支払額1,902百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は483百万円 (前期は538百万円の減少) となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出343百万円、無形固定資産の取得による支出111百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は1,884百万円 (前期は10,647百万円の減少) となりました。

これは主に、長期借入による収入6,600百万円による増加及び長期借入金の返済による支出1,000百万円、自己株式の取得による支出1,771百万円、配当金の支払額1,787百万円による減少によるものであります。

	第41期 2017年3月期	第42期 2018年3月期	第43期 2019年3月期	第44期 2020年3月期	第45期 2021年3月期
自己資本比率 (%)	74.8	75.5	76.8	84.3	78.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	93.1	104.1	71.4	56.2	69.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	176.8	122.5	150.6	20.9	81.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	975.7	2,601.6	1,033.4	2,035.1	2,998.7

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

5. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

6. 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式を除く発行済株式数により算出しております。

7. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2022年3月期	103,400	9,000	9,100	6,100	173円59銭
2021年3月期	101,257	9,522	9,734	6,588	186円58銭
増減率 (%)	2.1	△5.5	△6.5	△7.4	—

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響について、ワクチン接種が開始された一方で、変異株のウイルス流行が拡大するなど、まだまだ先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループの2022年3月期の経営方針として『成長し続けるつぶれない会社』を掲げました。創業の精神である『つぶれないロマンのある会社づくり』と、行動規範である『四方よしの精神』を基本的方針としたグループのさらなる成長による企業価値向上と、環境・社会・ガバナンス（ESG）の3つの側面で長期的に持続可能性（サステナビリティ）のある社会に貢献できる会社作りを目指してまいります。

その上で、「開発型ビジネスモデル」のメーカー機能と「卸売型ビジネスモデル」の商社機能を併用することで、さまざまな変化対応が求められる環境下においても、生活者が求める商品をスピーディーかつ安定的に流通市場に提供できる組織体制と財務基盤を持ち合わせており、それらを今後の継続的な成長基盤としてまいります。

通期の連結業績見通しとしましては、売上高103,400百万円、営業利益9,000百万円、経常利益9,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益6,100百万円を見込んでおります。

第1四半期連結会計期間につきましては、前期にマスクなど衛生用品の急激な需要があった影響で、前年同期を下回ると見込んでおりますが、第2四半期以降は前年同期を上回ると見込んで、連結業績見通しを公表しております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の最重要政策と位置づけ、積極的かつ安定的な配当の維持継続や市場環境・資本効率を勘案した自己株式の取得を実施していくとともに、社員の成果に対する報酬制度も考慮し、経営環境の変化に対応できる企業体質の強化と将来の新規事業展開に備えて、内部留保にも配慮していく所存であります。

今後も引き続き、業績向上と財務体質の強化を図りながら経営基盤を強化し、株主の皆様のご期待に沿うべく努力してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。



3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	37,549	47,870
受取手形及び売掛金	12,809	12,680
電子記録債権	1,326	1,344
商品及び製品	7,825	8,722
短期貸付金	10	32
その他	1,152	1,401
貸倒引当金	△5	△32
流動資産合計	60,668	72,020
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	13,010	13,041
減価償却累計額	△4,746	△5,084
建物及び構築物 (純額)	8,264	7,957
土地	9,385	9,385
リース資産	987	1,005
減価償却累計額	△392	△493
リース資産 (純額)	594	511
建設仮勘定	274	497
その他	2,054	1,876
減価償却累計額	△1,679	△1,550
その他 (純額)	375	325
有形固定資産合計	18,894	18,677
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	196	144
その他	445	372
無形固定資産合計	642	516
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,225	1,556
長期貸付金	38	6
繰延税金資産	278	163
その他	1,101	1,099
貸倒引当金	△51	△12
投資その他の資産合計	2,592	2,813
固定資産合計	22,129	22,007
資産合計	82,798	94,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,174	5,837
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
リース債務	156	153
未払法人税等	1,134	2,326
役員賞与引当金	48	74
賞与引当金	48	6
その他	2,874	2,995
流動負債合計	10,437	11,394
固定負債		
長期借入金	—	6,600
リース債務	635	502
退職給付に係る負債	565	621
資産除去債務	9	9
環境対策引当金	0	—
繰延税金負債	55	56
その他	62	76
固定負債合計	1,328	7,866
負債合計	11,765	19,261
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	60,228	65,029
自己株式	△1,805	△3,576
株主資本合計	69,690	72,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	183
繰延ヘッジ損益	222	428
為替換算調整勘定	△24	28
退職給付に係る調整累計額	△19	△25
その他の包括利益累計額合計	143	614
非支配株主持分	1,198	1,432
純資産合計	71,032	74,767
負債純資産合計	82,798	94,028

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	96,238	101,257
売上原価	69,531	70,796
売上総利益	26,706	30,460
販売費及び一般管理費	20,711	20,937
営業利益	5,995	9,522
営業外収益		
受取利息及び配当金	69	26
債務勘定整理益	86	43
為替差益	—	58
関係会社受取業務管理料	5	5
助成金収入	35	14
受取補償金	32	8
その他	126	88
営業外収益合計	356	244
営業外費用		
支払利息	4	4
支払手数料	6	7
貸倒引当金繰入額	—	7
為替差損	59	—
その他	21	12
営業外費用合計	91	32
経常利益	6,260	9,734
特別利益		
環境対策引当金戻入額	23	—
特別利益合計	23	—
特別損失		
関係会社株式評価損	45	—
特別損失合計	45	—
税金等調整前当期純利益	6,238	9,734
法人税、住民税及び事業税	1,987	3,057
法人税等調整額	△64	△64
法人税等合計	1,922	2,992
当期純利益	4,316	6,742
非支配株主に帰属する当期純利益	104	153
親会社株主に帰属する当期純利益	4,211	6,588

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	4,316	6,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△223	217
繰延ヘッジ損益	120	214
為替換算調整勘定	△95	124
退職給付に係る調整額	10	△6
その他の包括利益合計	△186	551
包括利益	4,129	7,293
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,073	7,059
非支配株主に係る包括利益	55	234

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,993	6,273	57,865	△159	68,972
当期変動額					
剰余金の配当			△1,848		△1,848
親会社株主に帰属する当期純利益			4,211		4,211
自己株式の取得				△1,645	△1,645
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	2,362	△1,645	717
当期末残高	4,993	6,273	60,228	△1,805	69,690

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	188	101	22	△30	281	1,150	70,405
当期変動額							
剰余金の配当							△1,848
親会社株主に帰属する当期純利益							4,211
自己株式の取得							△1,645
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△223	120	△46	10	△138	47	△90
当期変動額合計	△223	120	△46	10	△138	47	626
当期末残高	△34	222	△24	△19	143	1,198	71,032

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,993	6,273	60,228	△1,805	69,690
当期変動額					
剰余金の配当			△1,787		△1,787
親会社株主に帰属する当期純利益			6,588		6,588
自己株式の取得				△1,771	△1,771
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計			4,801	△1,771	3,029
当期末残高	4,993	6,273	65,029	△3,576	72,719

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△34	222	△24	△19	143	1,198	71,032
当期変動額							
剰余金の配当							△1,787
親会社株主に帰属する当期純利益							6,588
自己株式の取得							△1,771
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	217	206	52	△6	470	234	705
当期変動額合計	217	206	52	△6	470	234	3,734
当期末残高	183	428	28	△25	614	1,432	74,767

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,238	9,734
減価償却費	758	763
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	40	26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	38	△42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	34	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	64	47
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△48	△0
受取保険金	△4	—
助成金収入	△35	△14
受取補償金	△32	△8
関係会社株式評価損	45	—
災害による損失	3	—
受取利息及び受取配当金	△69	△26
支払利息	4	4
売上債権の増減額 (△は増加)	3,754	140
たな卸資産の増減額 (△は増加)	575	△880
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,360	633
未払消費税等の増減額 (△は減少)	154	154
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	41	△23
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	46	116
その他	39	34
小計	10,289	10,648
利息及び配当金の受取額	69	26
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△1,889	△1,902
助成金の受取額	157	49
補償金の受取額	—	40
受取保険金の受取額	4	—
災害による損失の支払額	△45	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,583	8,855
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	55	—
有形固定資産の取得による支出	△255	△343
無形固定資産の取得による支出	△258	△111
投資有価証券の取得による支出	△18	△19
事業譲受による支出	△30	—
貸付けによる支出	△9	△8
貸付金の回収による収入	9	18
その他の支出	△34	△28
その他の収入	3	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△538	△483

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	6,600
長期借入金の返済による支出	△7,000	△1,000
自己株式の取得による支出	△1,645	△1,771
リース債務の返済による支出	△153	△157
配当金の支払額	△1,848	△1,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,647	1,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	65
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,646	10,321
現金及び現金同等物の期首残高	40,195	37,549
現金及び現金同等物の期末残高	37,549	47,870



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月19日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式1,202,300株の取得を行いました。この結果、当連結会計年度において自己株式が1,771百万円増加し、当連結会計年度末において自己株式が3,576百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、機能別のセグメントから構成されており、経済的特徴及び製品等の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「開発型ビジネスモデル」及び「卸売型ビジネスモデル」の2つを報告セグメントとしております。

「開発型ビジネスモデル」は自社で商品企画から開発、販売までを手掛ける「メーカー機能」のビジネスであり、家電・家庭用品、収納関連、衣料、食品・酒類等があります。

「卸売型ビジネスモデル」は国内外のメーカーから商品を仕入れて販売する「調達・加工機能」のビジネスであり、時計や鞆関連を中心とした海外の「有名ブランド品」と、自社オリジナルのアソートギフトを中心とした「NB加工品」に大別されます。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	開発型ビジ ネスモデル	卸売型ビジ ネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	47,078	45,175	92,253	3,984	96,238	—	96,238
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	9,565	9,565	△9,565	—
計	47,078	45,175	92,253	13,549	105,803	△9,565	96,238
セグメント利益	3,285	2,712	5,998	498	6,496	△501	5,995
セグメント資産	12,986	9,121	22,108	6,917	29,025	53,772	82,798
その他の項目							
減価償却費	1	—	1	105	107	651	758

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△501百万円は、セグメント間取引の消去117百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△314百万円及びその他調整額△304百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額53,772百万円は、セグメント間債権・債務相殺消去△2,594百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産56,258百万円及びその他調整額108百万円が含まれております。

4. 減価償却費の調整額651百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	開発型ビジ ネスモデル	卸売型ビジ ネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	53,679	43,275	96,955	4,301	101,257	—	101,257
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	9,029	9,029	△9,029	—
計	53,679	43,275	96,955	13,331	110,286	△9,029	101,257
セグメント利益	5,605	3,823	9,429	748	10,178	△655	9,522
セグメント資産	15,333	8,005	23,339	7,347	30,686	63,341	94,028
その他の項目							
減価償却費	1	—	1	109	111	651	763

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△655百万円は、セグメント間取引の消去98百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△397百万円及びその他調整額△356百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額63,341百万円は、セグメント間債権・債務相殺消去△2,304百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産65,437百万円及びその他調整額208百万円が含まれております。

4. 減価償却費の調整額651百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内の管理手法の変更に伴い、開発型ビジネスモデルに区分し測定していた一部の売上高、利益、資産を卸売型ビジネスモデルへ変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

**【関連情報】**

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を記載しているため、省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を記載しているため、省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,921円50銭	2,086円85銭
1株当たり当期純利益	114円61銭	186円58銭

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,211	6,588
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益 (百万円)	4,211	6,588
期中平均株式数 (千株)	36,747	35,310

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,342	43,856
受取手形	494	235
電子記録債権	988	1,028
売掛金	11,105	11,235
商品及び製品	7,144	7,899
前渡金	460	411
前払費用	74	76
その他	520	2,406
貸倒引当金	△5	△32
流動資産合計	55,124	67,115
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,567	7,292
構築物	236	218
機械及び装置	85	74
車両運搬具	9	5
工具、器具及び備品	177	127
土地	6,601	6,601
リース資産	465	412
有形固定資産合計	15,144	14,732
無形固定資産		
借地権	14	14
商標権	13	11
ソフトウェア	327	255
リース資産	196	144
その他	7	7
無形固定資産合計	560	433
投資その他の資産		
投資有価証券	856	1,187
関係会社株式	1,669	1,664
長期貸付金	30	—
従業員に対する長期貸付金	8	6
関係会社長期貸付金	1,800	—
破産更生債権等	21	12
長期前払費用	16	12
繰延税金資産	254	134
その他	1,029	1,048
貸倒引当金	△51	△12
投資その他の資産合計	5,635	4,054
固定資産合計	21,340	19,220
資産合計	76,464	86,336

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,943	4,551
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
リース債務	123	120
未払金	1,837	1,951
未払費用	247	341
未払法人税等	951	1,986
前受金	175	89
預り金	67	57
前受収益	12	12
役員賞与引当金	43	58
賞与引当金	42	—
その他	256	372
流動負債合計	8,703	9,542
固定負債		
長期借入金	—	6,600
リース債務	538	435
退職給付引当金	502	545
資産除去債務	9	9
環境対策引当金	0	—
その他	62	76
固定負債合計	1,113	7,667
負債合計	9,816	17,210
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金		
資本準備金	5,994	5,994
その他資本剰余金	279	279
資本剰余金合計	6,273	6,273
利益剰余金		
利益準備金	166	166
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	16	15
別途積立金	47,600	49,600
繰越利益剰余金	9,213	11,101
利益剰余金合計	56,996	60,883
自己株式	△1,805	△3,576
株主資本合計	66,458	68,573
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△34	182
繰延ヘッジ損益	224	369
評価・換算差額等合計	190	552
純資産合計	66,648	69,126
負債純資産合計	76,464	86,336

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	87,712	91,755
売上原価		
商品期首たな卸高	7,678	7,144
当期商品仕入高	62,738	64,859
合計	70,416	72,003
商品期末たな卸高	7,144	7,899
商品売上原価	63,272	64,104
売上総利益	24,439	27,650
販売費及び一般管理費	19,296	19,579
営業利益	5,143	8,071
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	563	23
債務勘定整理益	86	43
関係会社受取業務管理料	18	19
助成金収入	35	4
受取補償金	32	8
その他	70	70
営業外収益合計	813	176
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	0	—
支払手数料	6	7
貸倒引当金繰入額	—	7
その他	5	2
営業外費用合計	17	21
経常利益	5,939	8,225
特別利益		
環境対策引当金戻入額	23	—
特別利益合計	23	—
特別損失		
関係会社株式評価損	45	—
特別損失合計	45	—
税引前当期純利益	5,918	8,225
法人税、住民税及び事業税	1,731	2,590
法人税等調整額	△44	△39
法人税等合計	1,687	2,551
当期純利益	4,230	5,674



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
					圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	4,993	5,994	279	6,273	166	17	45,600	8,830
当期変動額								
剰余金の配当								△1,848
圧縮記帳積立金の取崩						△1		1
別途積立金の積立							2,000	△2,000
当期純利益								4,230
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△1	2,000	382
当期末残高	4,993	5,994	279	6,273	166	16	47,600	9,213

	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計						
当期首残高	54,614	△159	65,721	188	102	291	66,013
当期変動額							
剰余金の配当	△1,848		△1,848				△1,848
圧縮記帳積立金の取崩	-		-				-
別途積立金の積立	-		-				-
当期純利益	4,230		4,230				4,230
自己株式の取得		△1,645	△1,645				△1,645
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				△222	121	△101	△101
当期変動額合計	2,381	△1,645	736	△222	121	△101	635
当期末残高	56,996	△1,805	66,458	△34	224	190	66,648

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
						圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	4,993	5,994	279	6,273	166	16	47,600	9,213
当期変動額								
剰余金の配当								△1,787
圧縮記帳積立金の取崩						△1		1
別途積立金の積立							2,000	△2,000
当期純利益								5,674
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△1	2,000	1,888
当期末残高	4,993	5,994	279	6,273	166	15	49,600	11,101

	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計						
当期首残高	56,996	△1,805	66,458	△34	224	190	66,648
当期変動額							
剰余金の配当	△1,787		△1,787				△1,787
圧縮記帳積立金の取崩	-		-				-
別途積立金の積立	-		-				-
当期純利益	5,674		5,674				5,674
自己株式の取得		△1,771	△1,771				△1,771
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				217	145	362	362
当期変動額合計	3,886	△1,771	2,115	217	145	362	2,477
当期末残高	60,883	△3,576	68,573	182	369	552	69,126

## 5. その他

## (1) 役員の変動

## 1. 代表者の変動

新役職名	旧役職名	氏名	変動年月日
代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO	代表取締役社長 兼 最高執行責任者	野村 正幸	2021年4月1日
取締役会長	代表取締役会長 兼 最高経営責任者	野村 正治	2021年4月1日

(注) 代表者の変動の詳細につきましては、2021年3月8日に開示致しました「代表取締役の変動に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他役員の変動

当事業年度の第3四半期決算短信の提出日後、当決算短信の提出日までの執行役員の変動は次のとおりであります。

## (1) 役職の変動

新役職名	旧役職名	氏名	変動年月日
常務執行役員 経営企画、人事企画、EC 事業戦略担当役員、社長室 長、IR広報担当 兼 EC 事業戦略部ディレクター	常務執行役員 経営企画、人事企画担当役 員、社長室長、IR広報担 当	小柳 伸成	2021年2月8日
取締役 兼 専務執行役員 営業副統括	取締役 兼 専務執行役員 第3事業本部長	阪本 路憲	2021年4月7日
常務執行役員 第3事業本部長	常務執行役員 ギフト事業部長	安藤 学	2021年4月7日

## (2) 退任執行役員

役職名	氏名	退任年月日
執行役員 A&V関連事業部長	伊賀 元徳	2021年3月31日

(注) 2021年4月1日をもって、当社連結子会社であるオリオン株式会社の代表取締役会長に就任しております。

## (2) その他

該当事項はありません。